

令和4年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	農林業センサス個票データを用いた「地域農業分析支援シート」		
[要約]「地域農業分析支援シート」は、2010年、2015年、2020年の農林業センサス個票データを使用し、これまで見られなかったデータを含めた166分類条件×107集計項目のクロス集計表及びグラフを任意の市町村・地域単位で閲覧可能なExcel形式の分析支援ツールである。					
キーワード	農林業センサス	農業構造	クロス集計	企画管理部	農業経営研究室

1 背景とねらい

農業構造が大きく変化する中、様々な課題に効率的かつ迅速に対応するためには、現状把握に基づいた行政施策の立案・検討が重要となる。産地等における農林業センサスのさらなる活用を支援するため、集計していない個票形式のデータ（調査票情報）を利用し、様々な分類条件及び集計項目によるクロス集計が簡易に閲覧可能なツールを開発する。

2 成果の内容

- (1) 本シートは、任意の分類条件と集計項目を選択することで、選択した分類条件（表側）×集計項目（表頭）のクロス集計表及びグラフ（2010年、2015年、2020年）を閲覧可能なExcel形式のファイルである（図1）。また、県全域、広域振興局(4)、農協(7)、旧市町村(59)の区分で地域を選択可能であり、選択した地域におけるグラフ及び集計表が表示される仕様となっている（図2、表1）。なお、集計表はグラフに対応するものに加え、より細かい範囲で分類した詳細版の2シートが閲覧可能である。
- (2) 本シートにおける分類条件は、経営形態別や農産物販売金額規模別及び農業経営主年齢別等の農業経営体分類に加え、水稻や小麦及び野菜類等の農業経営部門別、キャベツやピーマン及びりんご等の県重点品目別等、計166条件から選択可能となっている（表2）。また、部門別及び品目別の分類条件では、作付有無によるデータ抽出に加え、当該部門及び品目の作付有の経営体のうち、さらに経営形態別、販売金額規模別、作付規模別、経営主年齢別の分類条件が選択可能である。
- (3) 本シートにおける集計項目は、組織形態別経営体数や農産物販売金額1位の部門別経営体数等の農業経営の特徴を把握可能な項目に加え、土地や農作物及び労働力に関する項目等、公表されている農林業センサス報告書と同様の項目を中心に、計107目から選択可能となっている（表3）。また、その他の集計項目としては、県重点品目の作付面積規模別作付面積、部門別の販売金額規模別販売金額（推計）等も選択可能である。
- (4) 本シートを使用することで、これまで産地等单位では見られなかったクロス集計データや複雑な条件による抽出統計が閲覧可能である。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 本成果で用いたデータは、農林業センサス個票データを基に独自集計したものである。
- (2) 本シートでは、2020年センサスデータの分析をベースとしており、2010年及び2015年センサスデータについては2020年センサスデータと共通している項目のみ収録している。
- (3) 農林水産省の示す基準を基に、秘匿対象となるデータは「x」としている。
- (4) 本シートの配布対象機関へは、文書によりダウンロードURL及びパスワード等を通知する。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等
県内全域 県農政関係課及び現地機関、市町村農政担当課、農業普及員、JA営農指導員等
- (2) 期待する活用効果
現状把握に基づく農業生産の振興に係る施策の立案及び検討

5 当該事項に係る試験研究課題

(R3-03) 2020年農林業センサス等を活用した農業構造動向分析[R3～R5/県単]

6 研究担当者

小向昌啓

7 参考文献・資料

2010年、2015年、2020年農林業センサス報告書

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

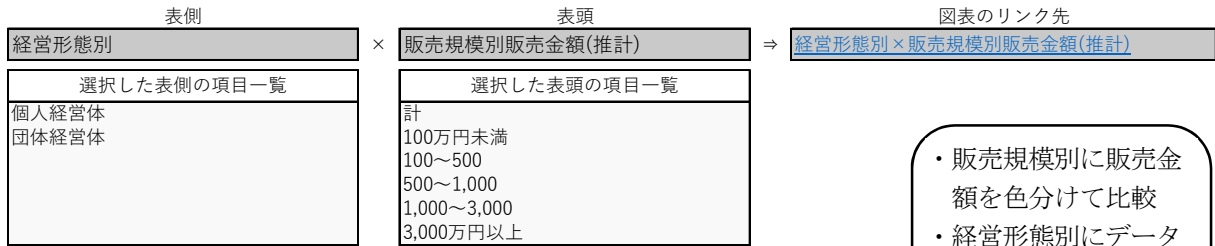


図1 分類条件及び集計項目の選択画面

- ・販売規模別に販売金額を色分けて比較
- ・経営形態別にデータを抽出して比較
- ・5年毎の経時変化
- ・地域別の比較

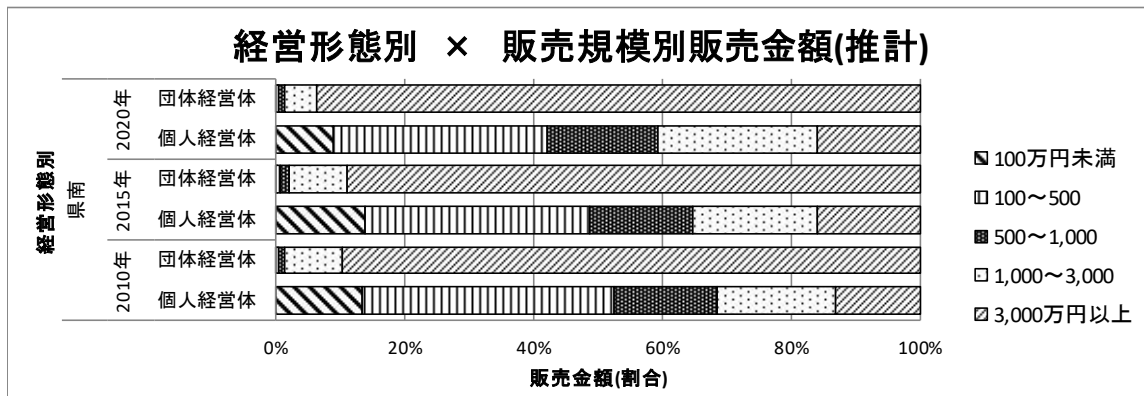
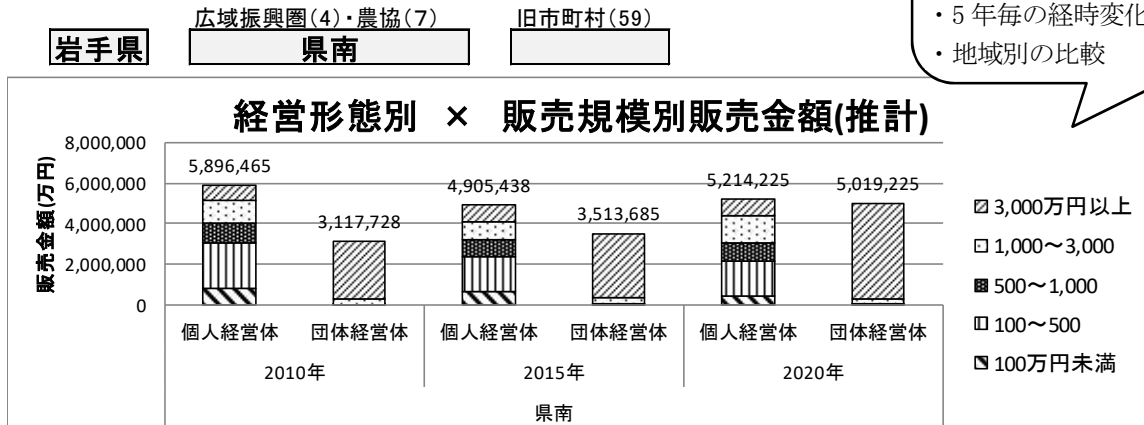


図2 地域選択と表示されるグラフの一例

表1 集計表（グラフ対応）の一例

地域名	年	区分	計	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000万円以上
県南	2010年	個人経営体	5,896,465	796,515	2,294,650	945,300	1,088,500	771,500
		団体経営体	3,117,728	1,928	12,150	29,650	281,500	2,792,500
	2015年	個人経営体	4,905,438	676,888	1,709,050	793,500	940,000	786,000
		団体経営体	3,513,685	2,835	20,450	48,150	314,750	3,127,500
	2020年	個人経営体	5,214,225	465,975	1,738,000	891,750	1,284,000	834,500
		団体経営体	5,019,225	2,825	22,400	43,500	254,000	4,696,500

表2 選択可能な分類条件の一例

大項目	小項目
農業経営体分類	経営形態別、農業経営組織別、販売金額1位の部門別、販売金額規模別、経営耕地面積規模別、作業受託料金収入規模別、経営主年齢別など
部門・品目別（作付有、経営形態別、販売金額規模別など）	水稲、小麦、大豆、野菜類、果樹類、花き類、県重点野菜品目（キャベツ、レタス、ねぎ、たまねぎ、にんじん、食用ばれいしょ、トマト、きゅうり、なす、ピーマン）、りんご、ぶどう、乳用牛など
その他	販売金額3,000万円以上、水稲売上1位の団体経営体、小麦または大豆の作付規模別など

表3 選択可能な集計項目の一例

大項目	小項目
農業経営の特徴	組織形態別経営体数、販売規模別経営体数、販売金額1位部門別経営体数、経営主年齢別経営体数、5年以内の後継者の確保状況別経営体数など
土地	経営耕地の状況、経営耕地面積規模別面積など
農作物・家畜等	稲、麦、雑穀、いも類、豆類、野菜類、果樹類、花き類等の作付経営体数及び作付面積など
労働力の状況	農業に60日以上従事した世帯員等、雇用者、常雇い、臨時雇いの状況など
その他	販売金額規模別の経営体数と推計販売金額など